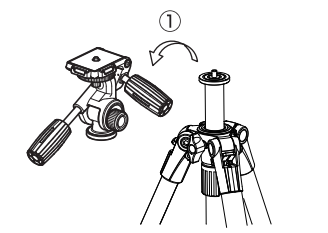
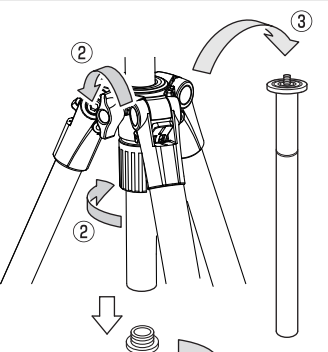


エレベーターの上下差しかえ

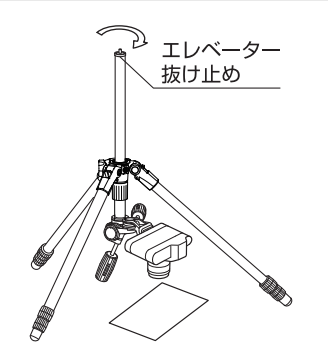
⚠ 注意



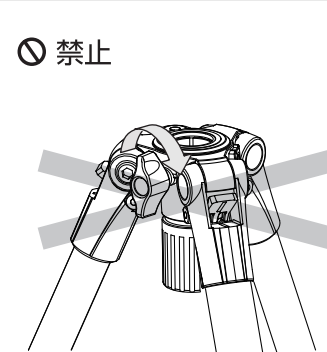
①エレベーターの上下差しかえまたは交換のときは、必ず雲台を外してください。



②エレベーターストップとエレベーターロックナットをゆるめます。
③エレベーター抜け止めを外しエレベーターをぬきとります。



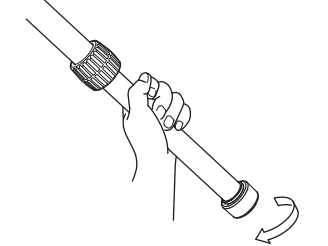
入れ替えが終わったらストップを締めつけ、落下防止のためエレベーター抜け止めを必ず取り付けてください。



エレベーターを抜きとったままエレベーターストップを操作しないでください。
内部の部品が破損します。

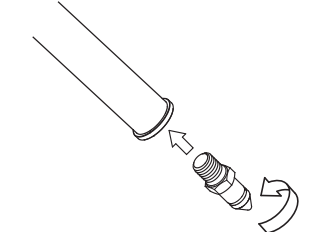
石突の交換

⚠ 注意



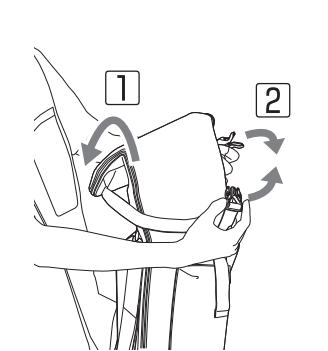
ゴム石突を取り外して、スパイク石突と交換する事が出来ます。
脚パイプをしっかりと握り、ゴム石突をゆるめてはずします。
この時、最下段の脚パイプ以外を持って行くと、脚パイプが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

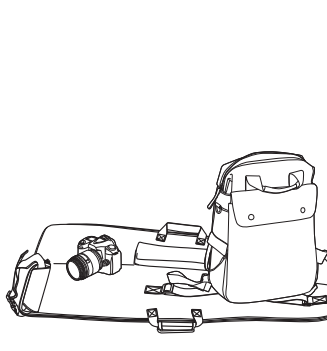


最初に付属のスパイク石突を止まるまで指でねじ込みます。
最後に付属のスパナで止まるまでねじ込んでください。
注意：
最下段の脚パイプ以外を持って行くと、脚パイプが破損する恐れがあります。
付属以外のスパナを使用すると脚パイプが破損する恐れがあります。

三脚ケース

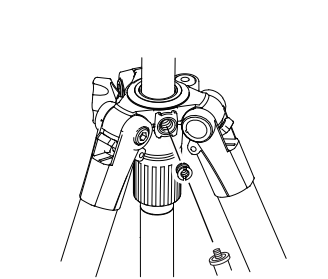


三脚をケースに収納して、
1. 余った部分は折りたたみ
2. ベルトで固定します。



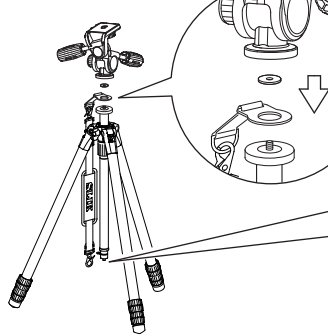
三脚ケースのファスナーを完全に開くとフラットになり簡易シートとしても使えます。

アクセサリホール

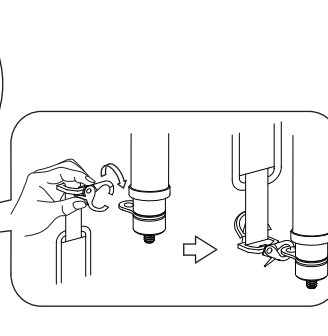


本体側面のアクセサリホール部には、U1/4" (またはダブルネジアダプターを外すと U3/8")ネジで、アクセサリ等を取り付けることができます。

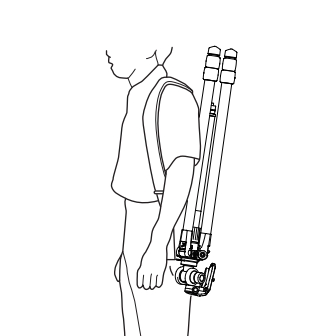
付属品



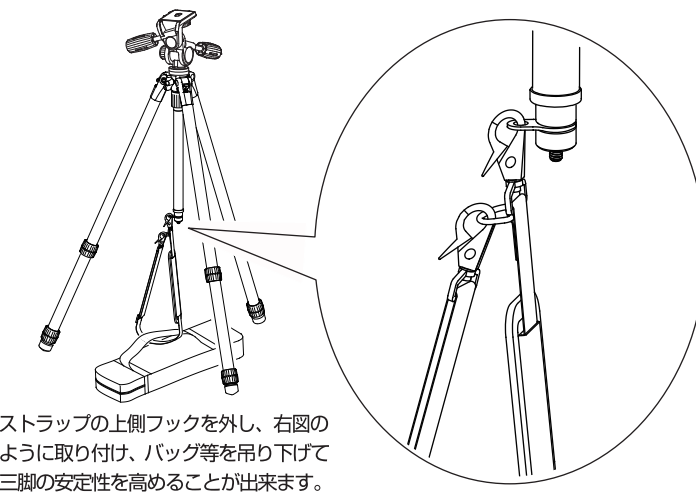
付属の三脚ストラップを使用すると、三脚の持ち運びに便利です。
図の様に、雲台を取り付ける際に金属プレートとワッシャーを雲台と三脚の間に挟んで使用します。



エレベータ下部の金属プレートにストラップのフックを図のように取り付けます。



三脚ストラップをご使用のときは、雲台を下にしてかつぐとバランスが良くなります。



ストラップの上側フックを外し、右図のように取り付け、バッグ等を吊り下げて三脚の安定性を高めることが出来ます。

⊘ 禁止



•三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
破損、故障の原因となります。
可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
•火に近づけないようにしてください。
夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

•よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。したがって本期間中は修理をお受けいたします。
インターネット・ホームページ
<http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。
©2022 SLIK CORPORATION

SLIK® カarbonマスター
833, 834, 733, 734

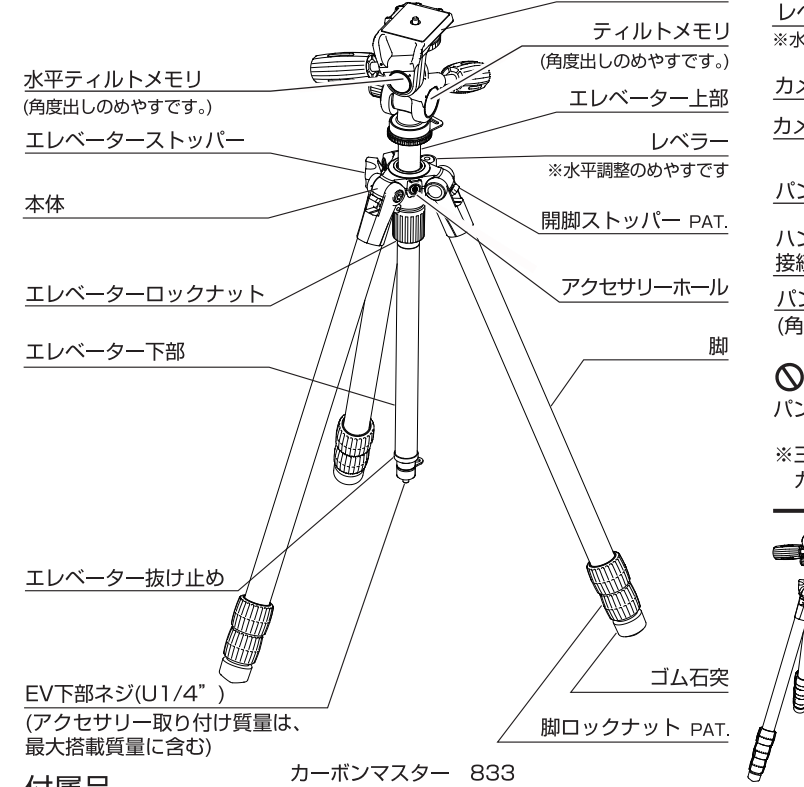
取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよく読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。
脚のみをお買い上げの方は「三脚部」の説明を中心にお読みください。

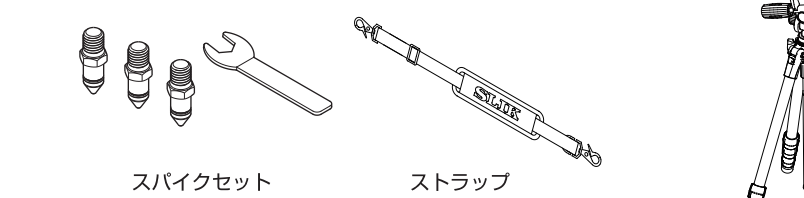
⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

⊘ 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

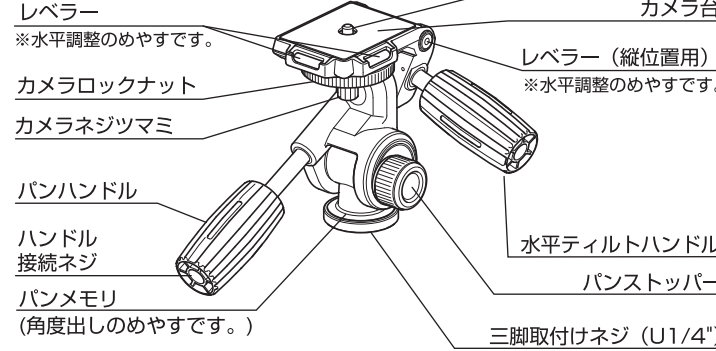
各部名称



付属品



雲台



⊘ 禁止

バンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。
※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

搭載する機材

⊘ 禁止

最大搭載質量
カーボンマスター 833 : 5kg
カーボンマスター 834 : 5kg
カーボンマスター 733 : 4kg
カーボンマスター 734 : 4kg

これ以上の機材は載せないでください。また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

衝撃のあったとき

⚠ 注意

三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、パイプにひび割れが入っていないか確認ください。
傷、割れ等が見つかった場合はただちに使用を中止し修理を依頼してください。
カーボン繊維が出ている場合はケガをするおそれがあります。
直接ふれないようご注意ください。

クランプヘッド

⊘ 禁止

別売のクランプヘッドはカーボン三脚に使用しないでください。
パイプが破損し危険です。

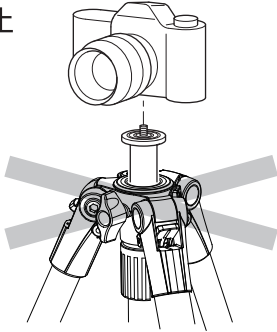
持ち運びのとき

⊘ 禁止

カメラは三脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

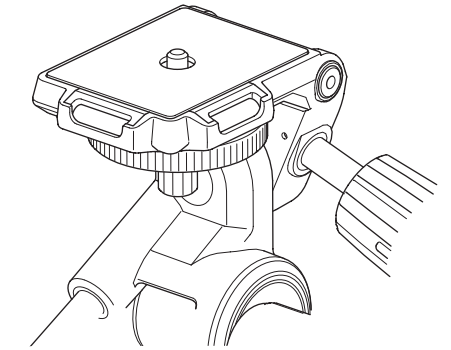
雲台取り付けネジ

⊘ 禁止



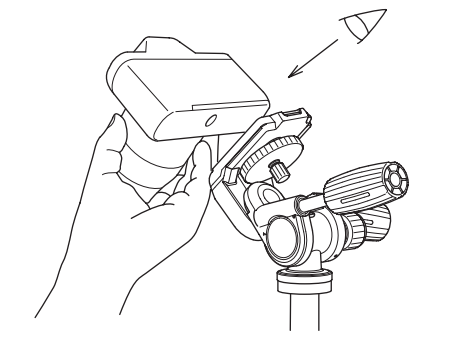
カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。雲台などを介してお取り付けください。

雲台部 レベラー



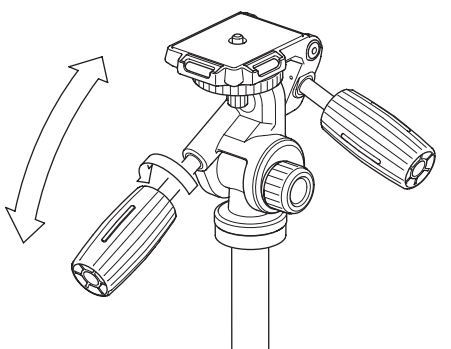
カメラ台のレベラーを使用すると、水平出しの目安とすることができます。

カメラの取り付け



ハンドルを操作して、図示の様にカメラ台の手元をあげると、ネジ部が見えて取り付けやすくなります。

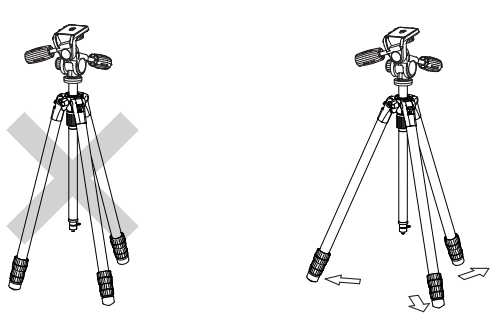
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると、前後にティルトできます。

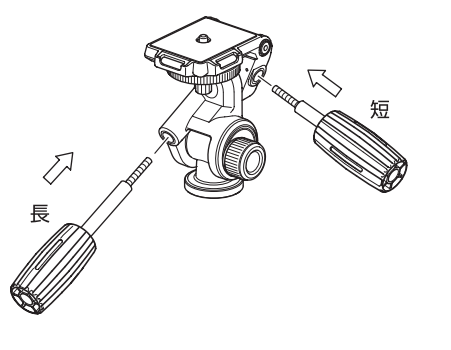
機材の取り付けとセットアップ

⚠ 注意



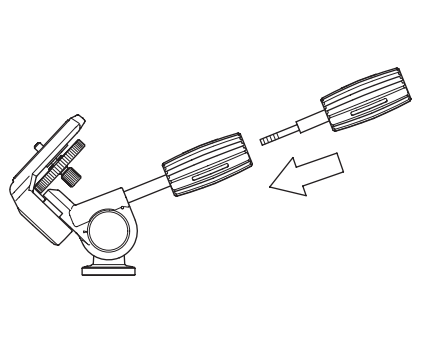
カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。また、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

パンハンドルの取り付け



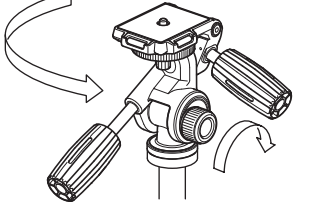
雲台に2本のハンドルを取り付けます。パンハンドル(長)を左、水平ティルトハンドル(短)を右に取り付けてください。

収納



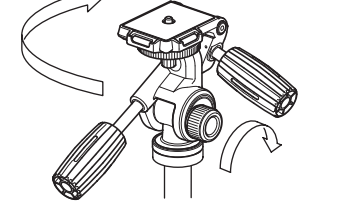
水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドル後部のハンドル接続ネジにねじ込んでください。コンパクトに収納できます。

雲台の取り外し



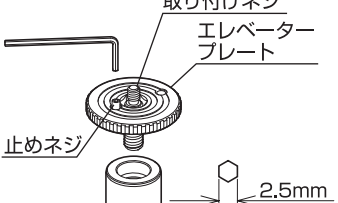
始めに、三脚のエレベーターストッパーとエレベーターロックナットを締め込みます。次に、雲台のパンストッパーをしっかりと締め込み、2つのハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台をまわします。これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け

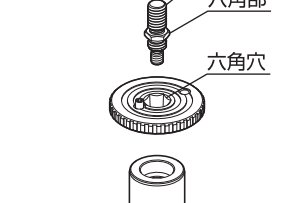


雲台と三脚のネジを合わせて、雲台を時計まわりに止まるまで回します。パンストッパーをきつく締めて、さらに時計まわりにネジ込みます。パンストッパーをゆるめると通常にパンニングできます。

三脚部 雲台取り付けネジを大ネジにする

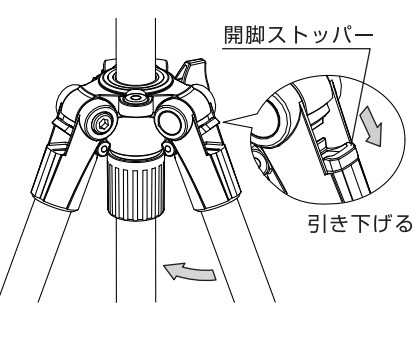


U3/8の大ネジにしたいときはエレベータープレートを外して取り付けネジを反転してください。エレベータープレートを取り外すには止めネジを六角レンチ(市販品、二面巾2.5mm)でゆるめてからエレベータープレートを反時計まわりに回します。

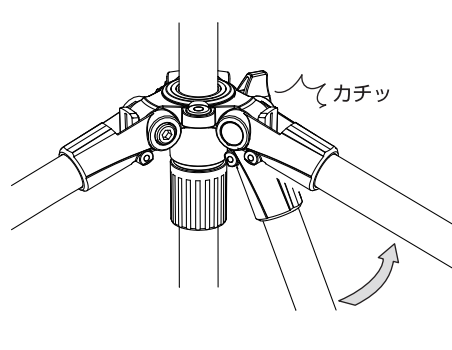


取り付けネジを反転してエレベータープレートを取り付けてください。このとき、取り付けネジの六角部とエレベータープレートの六角穴を合わせてねじ込んでください。最後に止めネジを締め付けてください。

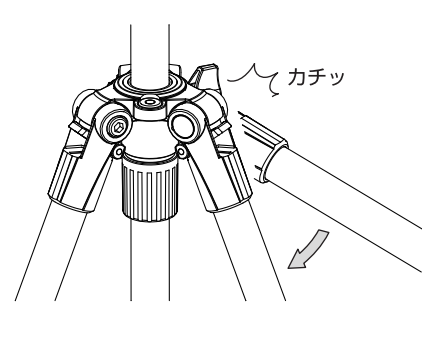
開脚角を変える PAT



標準の開き位置から脚を少し閉じてから、開脚ストッパーを引き下げます。

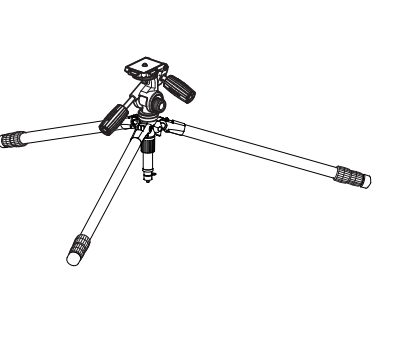


脚をゆっくり引き上げて行くと開脚ストッパーがカチッと鳴ります。さらに脚を止まるまで引き上げた所がローポジションです。

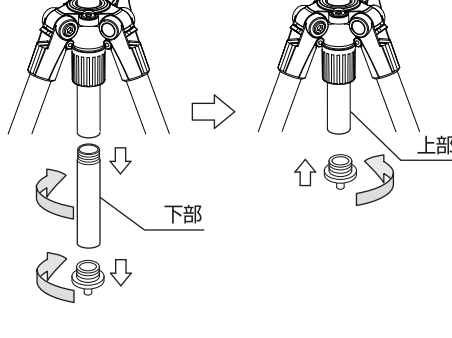


さらに脚を閉じて行くことで、ミドルポジション、標準開脚の順に調整することができます。

ローポジション

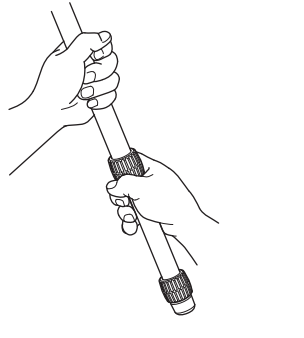


エレベーターの下部を取り外すことにより、より地面に近い位置からの撮影が可能です。



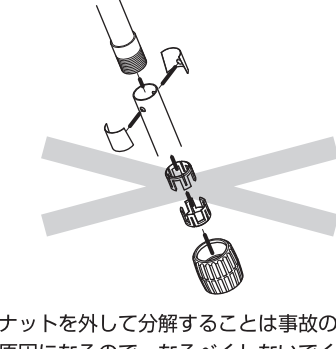
エレベーター抜け止めと、エレベーター下部を矢印方向にねじり、取り外します。取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。

脚の伸縮

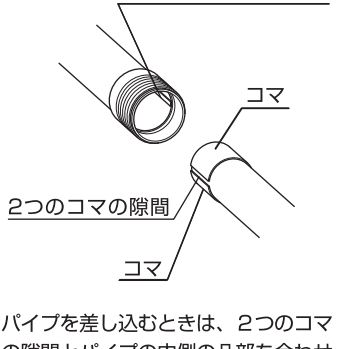


脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。位置が決まったら、しっかりと脚ロックナットを締めつけてください。

⊘ 禁止

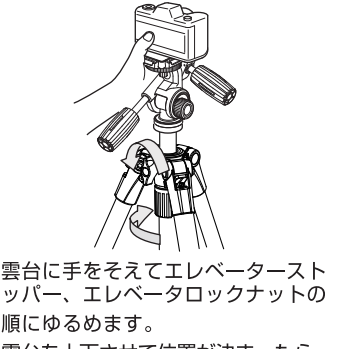


ナットを外して分解することは事故の原因になるので、なるべくしないでください。外した時は図のように正しく組み込んでください。

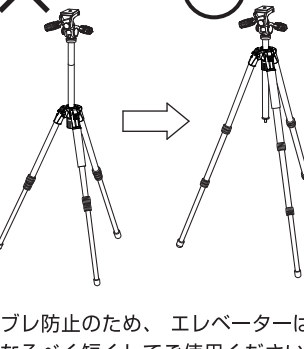


パイプを差し込むときは、2つのコマの隙間とパイプの内側の凸部を合わせてください。

エレベーターの使い方



雲台に手をそえてエレベーターストッパー、エレベーターロックナットの順にゆるめず。雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前にしっかりとナット、ストッパーをロックしてください。



ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。また、脚は太いパイプを優先してお使いください。